



## 第1章 本研究に関連する諸事象



本実験に取り組むに当たり、まず色彩、香り刺激の選定、感情次元の基となる評定語の選定が課題として挙げられる。また、色彩と香りの組み合わせによる心理的効果の検討に当たり、組み合わせの条件設定も課題と考えられる。そこで、第1章では、これらの課題に関わる諸事象を先行研究として紹介することとした。

§1-1 では、色彩と香りの組み合わせの条件設定の決定の基となった、色彩と香りの相互的作用に関する先行研究、特に、組み合わせに着目した研究の概要を紹介する。

§1-2 では、刺激の選定基準となった、色彩や香りの分類に関する報告結果を紹介する。香りの分類を試みた研究として、本研究の予備的実験として行なった感情による分類結果も報告する。

続く§1-3 では、色彩、香りの感情次元に関する諸事象をまとめた。感情次元の基となる評定語の選定基準となった、色彩や香りの表現用語に関する研究、これらの用語を用いた研究の結果として得られた色彩や香りの感情次元、感情効果の報告を紹介する。

さらに、色彩、香りの感情的効果には、嗜好性も影響を及ぼすことが考えられる。そこで、§1-4 で、色彩、香り各々の嗜好傾向に関する比較的最近の報告結果をまとめた。